

かみねんど

紙粘土で

キラキラ☆ランプシェード



やまぐち けんじ
山口 健児

© Fuchu Art Museum 2021



ざいりょう どうぐ 材料・道具



必要なもの

- ・紙粘土（軽くて柔らかめのもの） 1個
- ・クリアカップ 2個
- ・卓上ライト（スマホ等のライトでも代用可） 1個
- ・粘土をのばす棒 1本
- ・ストロー（太さの違うもの） 1～2種類
- ・ヘラ 1～3種類
- ・つまようじ 1本

あるといいもの

- ・ビニール袋（紙粘土を乾燥から防ぐため） 1枚
- ・粘土板（ツルツルのテーブルの上でも可） 1枚
- ・はさみ 1本
- ・木工用ボンド 適量
- ・アクセサリパーツ（ビーズ、スパンコール等） 適量
- ・絵具セット（水彩絵具、筆、パレット、水入れ等）

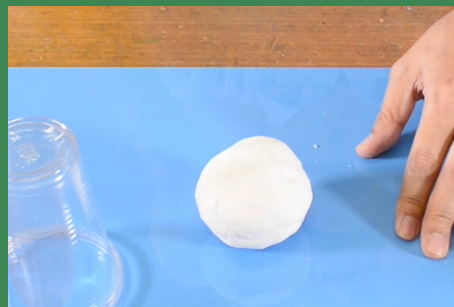


どだい つくりかた（ランプシェードの土台づくり）



1. 下準備

- ・クリアカップ（以下カップ）を2個重ねておく。
- ・小さなみかん1個くらいの大きさに、紙粘土を取り分ける（20～30g）。
- ・残りの粘土は乾燥しないように袋に入れおく。



2. 紙粘土でお団子をつくる

- ・粘土板等の上で、手のひらを使いこねて、コロコロと転がし丸める。



3. 紙粘土をぎゅっとつぶす

- ・粘土板等の中央に押しつけるように。



4. 棒で紙粘土を薄くのばす

- ・棒を転がして、ぺったんこにのばす。
- ・カップを上置き、カップ全体をおおえる大きさになったか、確認する。
- ・十分にのばしたら紙粘土が破けないよう、ゆっくりと粘土板等からはがす。



5. 紙粘土をカップにぐるっと巻きつける

- ・カップのまわりに、のり巻きのように、巻きつける。
- ・重なった部分を、カップの内と外、両側から指ではさみ込むように押しつける。



6. カップが見えないよう紙粘土でおおう

- ・しっかりと押しつけて、シワやすき間があまり目立たないようにする。
- ・このとき、カップが二重だと強度が高く押しやすい。
- ・はみ出た部分は、はさみ等で切り落とす。

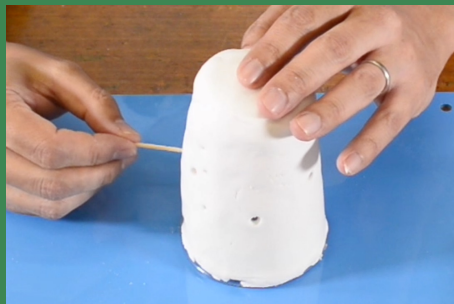
● つくりかた（かざりつけ）

今回はクリスマスツリー風につくってみました。
ぜひ、その季節にぴったりのランプシェードをつくって、
お部屋にかざってみてくださいね♪



7. 丸い穴をあけるときは

- ・ ストローを穴を開けたい位置にぎゅっと差し込み、カップに当たったら、クルクルとストローを回転させて、紙粘土をとる。



8. 小さな穴をあけるときは

- ・ つまようじの尖ったほうを使うと、細かな穴に。
- ・ つまようじの持ち手のほうを使うと、少し太い穴に。



9. 窓のような穴をあけるときは

- ・ 先の平らなへらで四角く穴をあけると、窓のようになる。
- ・ ここで一度ライトでカップの内側から照らして、どのように光るか確認し、かざりつけをイメージ。



10. 余った紙粘土でかざりつける

- ・ 指先で押して、紙粘土同士をつける。
- ・ くっつきにくいときは、少しだけ水をつけると、つきやすくなる。
- ・ それでもつかなければ木工用ボンドでつける（木工用ボンドは乾くと透明になる）。



11. アクセサリーパーツ等を使ったかざりつけ

- ・ ビーズ等をつけるときは、カップの内側から指や手で押さえながらつける。
- ・ パーツが落ちたときは、木工用ボンドでつける。



完成！ライトアップしてみよう！

- ・ 紙粘土の細かな表情まできれいに見える！
- ・ ライトも点滅、色が変わるもの等を使うとさらに変化が楽しめます。
- ・ 絵具で色をつけると、明るいところでもより素敵な作品に見えるかもしれません。